

# 多米小学校の ESD 活動

## <活動の概要>

- ・「伝えよう未来へ！多米の自然のすばらしさを」を活動テーマとして、ESDを自然豊かな地域に対する愛着を育て自然を守るための具体的な方策を探るものだと捉えている。ESDの実践を通して、問題に気づき、仲間とともに解決しようとする力の育成を目標とした。
- ・校区を流れる朝倉川と葦毛湿原に生きる多様な生き物や保全に携わる人々との関わりを柱に、「水辺に生きる魚や虫たちと関わる学習」「稲作に関わる体験学習」「多米の自然環境に関わる学習」を行った。

## ・活動の実際

### ① 水辺に生きる魚や虫たちと関わる学習 ～川となかよし～（1年生）

学校の近くの朝倉川に行き、川たんけんを行った。冷たい水の中をすべらないように気をつけて歩き、たくさんの魚やザリガニ、ドジョウなどの生き物を見つけた。この活動を通して、たくさんの生き物がいる朝倉川が大好きになった。



いろいろな生き物を見つけたよ

### ② 多米の自然環境に関わる学習 ～これがぼくらの葦毛湿原だ！！～（3年生）

校区にある葦毛湿原が、国に指定されるほど貴重な場所だと知った子どもたちは、「もっと調べたい」「何が貴重なの」という声をあげ、追究を進めていった。調べ学習や見学を重ねる中で、葦毛湿原がボランティアの方々の手によって守られていること、高齢化などによって会の存続が難しくなっていることなどを知った子どもたちは、「自分たちも参加したい」「何かできることはないか」という思いをもった。子どもたちはポスターやチラシを作って、掲示・配付したり、繰り返し葦毛湿原へ調査に向かったりし、夢中になって学びに向かう姿が見られた。



めずらしい植物があるよ

### ③ 稲作に関わる体験学習 ～KOME KOME クラブ～（5年生）

農家の方の指導のもと、学校の近くの田んぼで田植えや稲刈りなどを行った。米作りの一部を体験したことで、田んぼの仕組みや米作り、それらに関連する自然環境により興味をもち、さらに調べていこうと意欲を高めた。



稲の束ね方を教えてもらったよ